

# にいがた防災交流プラットフォーム 設置・記念セッション

---

公益社団法人 中越防災安全推進機構  
事務局長 諸橋和行

公益社団法人 中越防災安全推進機構

# 事務局長 諸橋 和行

長岡技術科学大学大学院修了 博士（工学）  
専門：雪氷工学

**1997年** 財団法人日本システム開発研究所 研究員  
（国の豪雪地帯対策、過疎地域対策等）

**2010年** 公益社団法人中越防災安全推進機構

**2011年** 同機構 地域防災力センター長

**2023年** 同機構 事務局長

越後雪かき道場 次席師範代  
日本雪工学会 理事  
雪の市民会議 広報局長  
学校法人中越学園 理事

チーム中越 理事  
ふるさと未来創造堂 理事  
中越防災フロンティア 監事  
防災士／中越市民防災安全士



# 公益社団法人 中越防災安全推進機構

## 1. 災害・復興の経験と教訓の発信

### 長岡震災アーカイブセンターきおくみらい

- (1) 震災メモリアル施設を活用した経験と教訓の発信
- (2) 生きる力を育む防災教育の推進

## 2. 災害に強い地域づくり

### 地域防災力センター

- (1) 防災人材育成
- (2) 地域防災力向上支援
  - ①自治体の防災施策サポート事業
  - ②自主防災会・町内会の活動支援事業
  - ③避難行動・避難所運営研修事業
- (3) 防災産業の推進

## 3. 持続可能な地域づくり

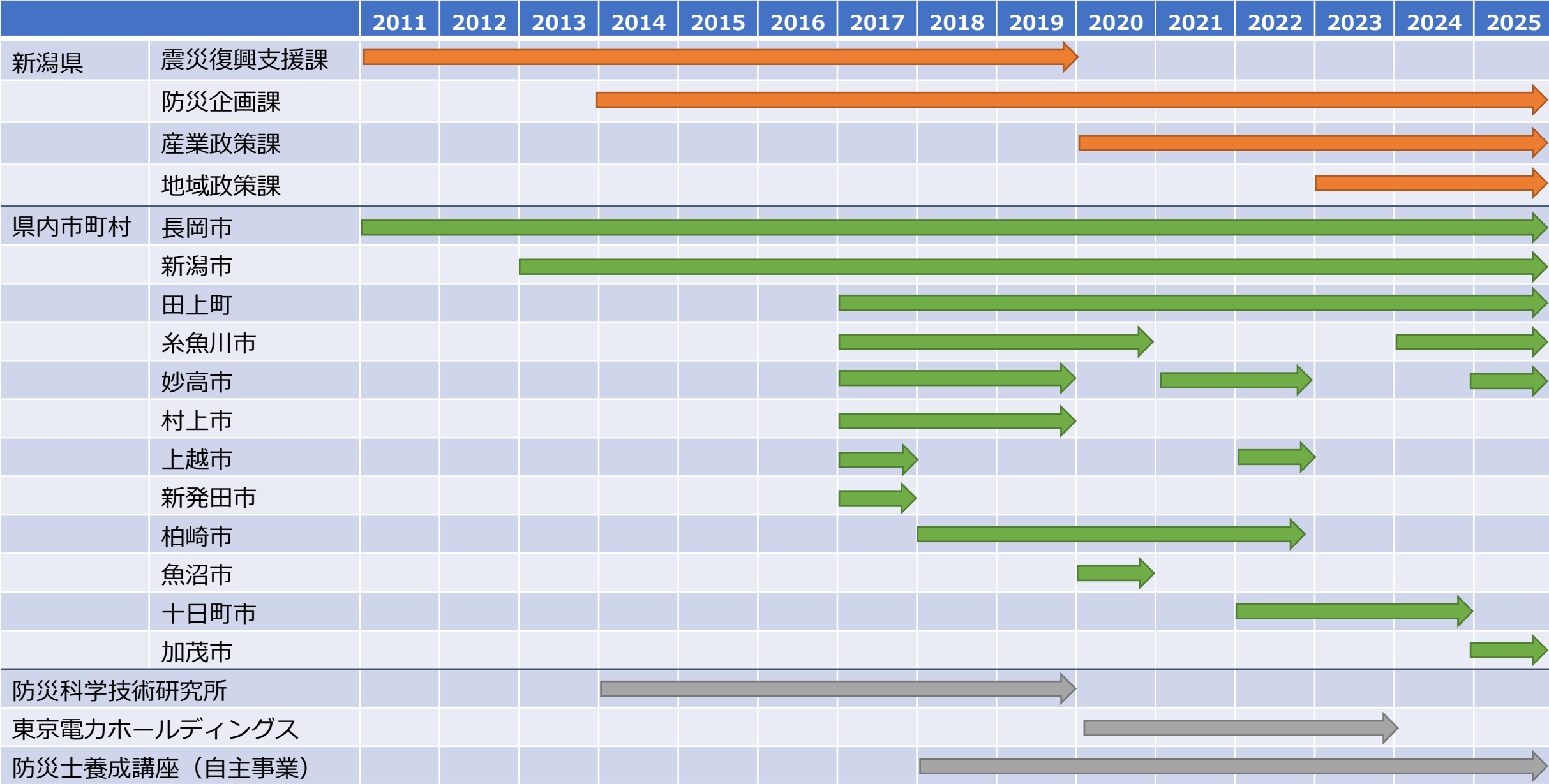
### にいがたイナカレッジ

- (1) 地域づくり人材育成
  - ①地域インターン事業
  - ②地域おこし協力隊支援事業
- (2) 地域づくり支援
  - ①関係人口の創出・拡大事業
  - ②移住支援事業



新潟県中越地震のメモリアル拠点である4施設、3公園を結ぶ中越メモリアル回廊。  
各施設では震災の記憶と記録を伝えるとともに防災意識向上のきっかけとなるよう  
工夫を凝らした研修プログラムを開発し、多くのみなさまに体験していただけるよう準備しています。  
中越メモリアル回廊では地域の防災を担うみなさまへ、次世代を担う子どもたちへ、そして来客へ、  
さまざまな防災・減災情報を発信し続けています。

中越防災安全推進機構（地域防災力センター）事業の変遷



## 第10回防災推進国民大会（ぼうさいこくたい2025 in 新潟）

|   | 出展タイプ               | テーマ（仮）                 | 主催団体                 |
|---|---------------------|------------------------|----------------------|
| 1 | セッション <b>S-41</b>   | 新潟が先導する「命を守る雪の防災」      | 日本雪工学会               |
| 2 | ワークショップ <b>W-16</b> | 在宅避難 普段の食事をローリングストックで  | ローリングストック普及推進実行委員会   |
| 3 | ブース展示 <b>B-71</b>   | 中越大震災から21年 中越メモリアル回廊の今 | 中越メモリアル回廊・中越防災安全推進機構 |
| 4 | ブース展示 <b>B-02</b>   | 団体の概要と共助・CSRの防災活動の歴史   | チーム中越                |
| 5 | エクスカーション            | 防災関連施設見学バスツアー（地震・水害）   | 内閣府・中越防災安全推進機構       |

## 関連するプログラム

|    | 出展タイプ   | テーマ（申込時）                          | 主催団体                         |
|----|---------|-----------------------------------|------------------------------|
| 1  | セッション   | ハイレベルセッション                        | 内閣府                          |
| 2  | セッション   | 中越地震から復興した新潟県が次世代へ伝えたい教訓          | 新潟県                          |
| 3  | セッション   | 災害時の建物調査・罹災証明書発行のための<br>応援・受援の枠組み | チームにいがた                      |
| 4  | セッション   | 新潟の地震、分かっていること、わからないこと            | 日本地震学会                       |
| 5  | ワークショップ | 防災ワクチン®「一枚の写真」ワークショップ             | 長岡技術科学大学 地域防災実践研究センター        |
| 6  | ワークショップ | つなぐー神戸、新潟、仙台、熊本<br>伝えてきたこと、そして次へー | 全国クロスロードネットワーク会議（新潟会議）       |
| 7  | ブース展示   | 中越大震災被災地の地域存続に向けた取組               | NPO法人中越防災フロンティア              |
| 8  | ブース展示   | 地域防災力向上への取り組み                     | 中越市民防災安全士会、長岡市危機管理防災本部       |
| 9  | ブース展示   | 震災の記憶と経験の継承・防災学習施設の取組             | 小千谷市産業開発センター・おぢや震災ミュージアムそなえ館 |
| 10 | 屋外展示    | 屋根雪の除雪作業中の事故防止                    | 新潟県克雪住宅普及促進協議会               |

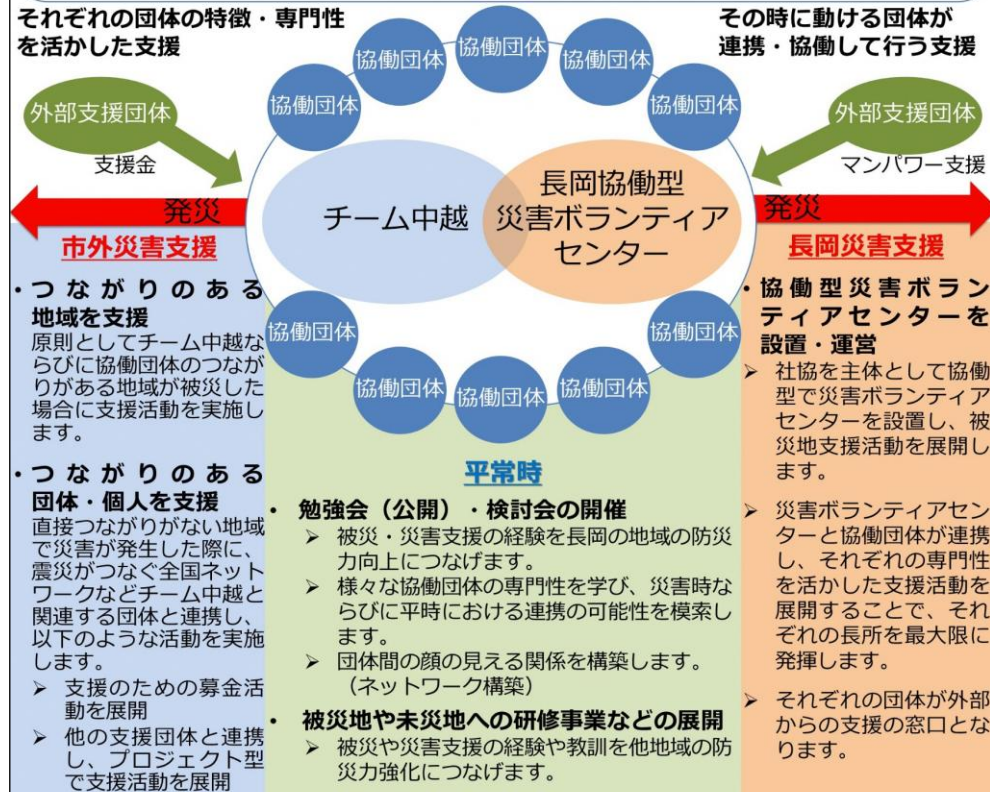
# チーム中越／長岡協働型災害ボランティアセンター

※現在はチーム中越と長岡協働型災害ボランティアセンターが一体的に活動を行っています。

## チーム中越／長岡協働型災害ボランティアセンターの理念

チーム中越／長岡協働型災害ボランティアセンターでは「顔の見えるゆるやかなネットワーク」が災害時は特に大切になると考え、活動理念・方針に賛同いただける団体との平時からの顔の見える関係性・協働できる関係性・互いに学び合い成長し合える関係性の構築を図っています。

また、支援においては、被災者の自立を妨げず**自立・復興**を促すような支援を行うと共に、**被災者ならびに支援者（ボランティア）のエンパワーメント**の視点、被災者⇄支援者、支援者⇄支援者間の**双方向の学び**を大切に支援活動を展開し、その先の復興や各地における防災へとつなげます。



これら平常時ならびに災害時の活動を通して、人材育成を行います。

### チーム中越の組織体制

災害時の活動方針に基づき、原則として被災地とつながりのある呼びかけ人が中心となり被災地支援活動を展開します。理事会はその活動の執行の判断やサポートを行います。

### 長岡協働型災害

#### ボランティアセンターの組織体制

長岡市社会福祉協議会を主体として、長岡青年会議所や中越防災安全推進機構、市内のNPO団体等が協働で運営を行います。



**長岡協働型  
災害ボランティアセンター**

Nagaoka disaster relief  
cooperative volunteer center

連絡先  
長岡市社会福祉協議会 TEL0258-32-1442  
中越防災安全推進機構 TEL0258-39-5525

# チーム中越／長岡協働型災害ボランティアセンター の協働団体

| No. | 協働団体名                         | 活動分野  |
|-----|-------------------------------|-------|
| 1   | 社会福祉法人長岡市社会福祉協議会              | 福祉    |
| 2   | 公益社団法人中越防災安全推進機構              | 防災    |
| 3   | 一般社団法人長岡青年会議所                 | まちづくり |
| 4   | NPO法人住民安全ネットワークジャパン           | 情報    |
| 5   | NPO法人ながおか生活情報交流ねっと            | 情報    |
| 6   | NPO法人多世代交流館になニナ               | 子育て   |
| 7   | 長岡市国際交流センター                   | 国際交流  |
| 8   | 中越市民防災安全士会                    | 防災    |
| 9   | NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク       | 防災    |
| 10  | NPO法人市民協働ネットワーク長岡             | 中間支援  |
| 11  | 社会福祉法人長岡三古老人福祉会               | 高齢者   |
| 12  | 社会福祉法人 長岡福祉協会 高齢者総合ケアセンターこぶし園 | 高齢者   |
| 13  | 長岡にこっとクラブ                     | アレルギー |
| 14  | NPO法人ピュアはーと                   | 障がい   |
| 15  | 長岡市ろうあ者福祉協会                   | 障がい   |
| 16  | 真如苑救援ボランティア サーブ (SeRV)        | 宗教    |
| 17  | 天理教災害救援ひのきしん隊新潟県支部            | 宗教    |
| 18  | 社会福祉法人新潟県社会福祉協議会              | 福祉    |
| 19  | 国際ロータリー第2560地区 地域協働ネットワークセンター | 社会奉仕  |
| 20  | NPO法人ふるさと未来創造堂                | 防災・教育 |
| 21  | NPO法人IVUSA (国際ボランティア学生協会)     | 国際交流  |
| 22  | NPO法人コメリ災害対策センター              | 防災    |
| 23  | 長岡長生ライオンズクラブ                  | 社会奉仕  |
| 24  | 長岡柏ライオンズクラブ                   | 社会奉仕  |
| 25  | 長岡蒼葉ライオンズクラブ                  | 社会奉仕  |
| 26  | 長岡ライオンズクラブ                    | 社会奉仕  |
| 27  | 長岡悠久ライオンズクラブ                  | 社会奉仕  |

| No. | 協働企業     | 活動分野 |
|-----|----------|------|
| 1   | 水澤電機株式会社 | 電機   |
| 2   | 株式会社中越   | 印刷   |
| 3   | 株式会社野村防災 | 防災   |

チーム中越の活動は、皆様からの支援金により支えられています。

毎年、東日本大震災ボランティアプロジェクトが行っている「長岡花火チャリティうちわ」の収益金の一部をチーム中越への支援金としていただいています。



**長岡協働型  
災害ボランティアセンター**

Nagaoka disaster relief  
cooperative volunteer center

連絡先  
長岡市社会福祉協議会 TEL0258-32-1442  
中越防災安全推進機構 TEL0258-39-5525

# プラットフォームのイメージ

## 支援団体（チーム中越、新潟県ボランティア調整会議など）

- 先遣調査
- 被災者支援活動
- 他災害支援団体との連携・情報共有

被災地情報など  連携することで、より効果的な支援に

## にいがた災害支援企業ネットワーク

支援シーズ情報など  企業にとってもよりメリットのある支援に

## 企業・団体等

- 災害支援物資やサービス等の提供（試供も含む）
- 企業・団体主体の被災者支援活動
- 製品開発や商品PRなどにつなげたい
- その他、後方支援など

県 「ぼうさいこくたい新潟でつながった方々とネットワークを作りたい」

私 「ネットワークや連携は**手段**であって**目的**ではないよなあ」

「民間側は必要であれば自分たちで連絡を取ってつながりを作っている」

「目的がふわっとしている」

「メリットがないのであれば、時間・労力をかけてまで民間団体が集まるのか疑問…」

「県として具体的なメリットを提供できるのか」

そんな中、にいがた防災交流プラットフォーム（案）設置準備会が動き出してしまった…

# にいがた防災交流プラットフォーム雑感

- このような機会はめったにない、自然発生的にはほぼ不可能
  - ちょっと楽しい・・・ ああ、これでいいのかあ
  - 「目的防災」と「結果防災」
  - 「目的つながり」と「結果つながり」
  - 「目的プラットフォーム」と「結果プラットフォーム」
- 
- 顔見知りが増える 色々な人と話ができる なんだかうれしい・楽しい
  - 案外、「仕事」とは離れていたほうがいいのかも
  - 「うごく」「できる」ためには一工夫が必要 「ノリ」「マインド」「きっかけ」